



岩五だより



令和6年11月7日

「合唱あり、展示作品あり、舞台発表ありの文化祭」

秋もやっとのことで深まり始めて参りました。涼しく感じることや、木々の色の変化に気づくことが増えてきました。本校関係者の皆様方におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。さる10月26日(土)には、本校体育館で無事に令和6年度文化祭を開催することができました。お陰様で、多くの方にご来校いただき、生徒の活躍する姿を見ていただくことができましたことは、教職員一同大変嬉しく感じています。

さて、今回の文化祭におけるテーマは、生徒の発案によって「桜梅桃李～個性輝く～」でした。一人ひとりが個性を輝かせられる素晴らしい文化祭になるようにという思いが込められました。まさに、これからの未来に向かって必要な多様性を示唆するテーマだと感じました。ここで少し文化祭を振り返ってみようと思います。午前中の合唱コンクールで各学年の課題曲について話します。1年生の「My Own Road」では、1年生としての心の葛藤をストレートに表現している歌でした。自分の力で拓く道だから少しずつでも一歩ずつ進んでいければと応援したくなります。2年生の「Let's search for Tomorrow」は、学校でこれから中核となってゆく2年生の意気込みを感じる歌でした。明日の自分を探すために、この広い世界に旅立とうとしている心情が伝わりました。3年生の「明日のために」は、最上級生らしい決意が込められた合唱でした。日々の忙しさで、周囲から受けた優しさや自分のひたむきに頑張ってきたことを忘れることなく、見失うことなく自分にとってのハードルを乗り越えていって欲しいと強く思います。どの学年も、どの組も甲乙付け難い合唱を披露してくれたと思います。五中生の合唱は、見るものに感動を与える力を宿していました。素晴らしい合唱コンクールだったと思います。

午後は、舞台発表でした。6組生徒による合奏とダンス「怪獣の花唄」から始まりました。6組の生徒が楽しそうに演じる姿を見て、会場は手拍子や大きな拍手に包まれました。それぞれの役割を理解して、一体感のある素晴らしい合奏とダンスとなりました。12月に行われる連合学芸発表会に向けて、さらに完成度を高めていくそうなので、今から非常に楽しみです。次は、生徒会による「SDGsについて」(持続可能な開発目標)の発表でした。映画風、ドラマ風のセンスの良い映像と展開で、現代社会に生きる私たちみんなに分かりやすく伝えてくれました。生徒会のメンバーの伝え方の工夫がとても良かったと思います。次に、人前で自分の意見や考えを述べることは、中々勇気がいることですが、2学年の中で秋口から学年弁論大会が行われ、この文化祭では学年代表の生徒が、英語の必要性について堂々と述べることができました。そして、本校代表として区の弁論大会に出場いたしました。最後は、締めくくり、フィナーレにふさわしく、会場を大いに盛り上げてくれた吹奏楽部の演奏です。中々人数が集まりにくく、小編成での演奏は大変な苦勞があったことと思いますが、教職員も加わって調和のある楽しい演奏を披露してくれました。アンコールの希望にも応えてくれ、見ごたえ十分な演奏だったと思います。

このような生徒一人ひとりの活躍や活動をしっかりと堪能することができた文化祭を落ち着いた環境で行うことができましたことを、保護者の皆様方、地域の皆様方に感謝いたします。

そして、この文化祭を行うために携わってくれた本校生徒の皆さん、教職員の皆さんの力に感謝いたします。本当にありがとうございました。

江戸川区立小岩第五中学校
校長 前本 大智